

# 14 古代ギリシア

自然 山地が多くて平野が少なく、複雑な海岸線。  
地中海性気候。オリーブ、オレンジ、ブドウなどの果樹栽培。

前2000頃

エーゲ文明

オリエント文明の影響  
エーゲ海周辺  
青銅器文明  
王権の強大な国家  
海上貿易で繁栄

前2000

〔前期〕 **クレタ文明** 小アジア系

エヴァンズの発掘 線文字A  
クレタ島 **クノッソス宮殿** 中心

前1400

ギリシア人第一波南下 (前2000~)  
← (アカイア人)

**トロヤ文明**

小アジア  
**シュリーマン** の発掘  
トロヤ戦争

前1600  
〔後期〕 **ミケーネ文明**

ギリシア本土 **ミケーネの城塞**  
**ギリシア人** の文明 線文字B

前1100

前1100頃

前800

暗黒時代 移動→定着 **鉄器**の普及 階級の分化がすすむ〔貴族、**平民**、奴隷〕

古代ギリシア  
ポリス社会

成立期

**多数のポリス形成** ①集住 (**シノイクスモス**) などにより。  
②アクロポリス, **アゴラ** (広場) などがあ  
城壁で防備を固める

ギリシア人の同族意識  
ヘレネスと**バルバロイ**  
**オリンピアの祭典**、競技会  
デルフィの神託、隣保同盟

**貴族政治** ①貴族が政権を独占して、平民は無権利  
②貴族は **騎兵** としてポリス防衛の主力をなす  
③大土地所有者として経済力があつた

**スパルタ** ①スパルタ市民の征服型ポリス **リュクリゴスの国制**  
②**ペリオイコイ** 劣格市民  
③**ヘロット** 共有の農業奴隷

**アテネ民主政の進展** (平民の参政権要求) ← **植民活動の展開**  
・地中海, 黒海沿岸に植民市の建設 [例] **マッサリア**, **ネアポリス**, **ビザンティオン**  
⇒商工業の発達 ⇒富裕な**平民** の出現  
⇒貨幣経済の発達 ⇒平民の **重装歩兵** がポリス防衛の主力となる

前508

**民主政の確立**  
前620 **ドラコン** の成文法  
前594 調停者 **ソロン** の改革 (財産 政治)  
前561 **ペイシストラトス** の僭主政治  
前508 **クレイステネス** の改革 (陶片追放の制度, 部族制度の改革)

全盛期

**ペルシア戦争**  
★歴史的意義  
前500 **イオニア植民市** のペルシアへの反乱をアテネが援助したのを機に始まる  
第1回 前492 **トラキア・マケドニア** がペルシアに屈伏  
第2回 前490 **マラトン** の戦い アテネの **重装歩兵** の活躍により撃退  
第3回 前480 **テルモピレー** の戦い **スパルタ軍** 全滅  
前480 **サラミス** の海戦に勝利 **テミстокレス** の率いるアテネ海軍、こぎ手の **無産市民** の活躍。  
前479 **プラタイア** の戦い アテネ, **スパルタ** の連合軍が陸戦で勝利

**アテネの覇権** **デロス同盟** の盟主として  
ペルシア戦争後, ペルシアの再攻に備えて結成された軍事同盟  
**アテネ民主政の完成** ★アテネ民主政の特徴  
〔**無産市民** にも参政権が与えられ市民の平等が完成〕  
**ペリクレス** 時代 (前443 ~ 429)  
将軍職として民主制を完成し, アテネの全盛時代  
**奴隷制社会**  
①生産活動は **奴隷** に依存  
②市民の余暇……文化発達  
**政治** と軍事に従事

前431 ~ 404

衰退期

**ペロポネソス戦争** 〔**アテネ**, **スパルタ** の覇権争い〕  
ポリス社会衰退の契機  
アテネ……**デロス同盟** の盟主  
スパルタ……**ペロポネソス同盟** の盟主  
・スパルタが勝利して覇権を確立  
・**ペルシア** のギリシア世界への干渉  
前371 **レウクトラ** の戦い  
スパルタに対し **テーベ** が勝利して覇権を確立  
**衆愚政治への変容** 直接民主政の墮落した形態  
・**デマゴゴス** (煽動政治家) が国政をあやつる

**マケドニア王国の台頭** (北方のギリシア人の王政国家)  
前338 **カイロネア** の戦い 国王 **フィリッポス2世**  
アテネの **デモステネス** が反マケドニア勢力を結集  
アテネ, **テーベ** 連合軍がマケドニアに敗北  
前337 **コリント同盟** (ヘラス同盟) の結成 盟主マケドニアが覇権を確立  
**ポリス社会の衰退** 長年の戦乱による疲弊  
①農業の衰退, 大土地所有制の発達  
②市民間に貧富の差が拡大——中産市民の没落  
③傭兵への依存——軍事力の弱体化

前334

ヘレニズム時代

前336 **アレクサンドロス即位**  
**アレクサンドロス大王の帝国**  
前333 **イッソス** の戦い ペルシア王 **ダレイオス3世** の軍を撃破  
前332 エジプトを征服 **ファラオ** に即位 **アレクサンドリア市** 建設  
前331 **アルベラ** の戦い ペルシア軍を決定的に撃破  
前334 **東方遠征** に出発  
オリエントを征服支配  
前330 **アケメネス朝ペルシア** を滅ぼす  
更に**イラン高原**・**中央アジア**・**西北インド** を征服  
★統治策の特徴  
★ヘレニズム文化 東西文化の融合  
国際的共通語 **コイネ**  
前323 **バビロン** に凱旋。ここで死去  
←**ディアドコイ戦争** (後継者争い) 前320 ~ 275  
前301 **イプソスの戦い** ヘレニズム世界の3分裂が決定的となる  
(1) **プトレマイオス朝エジプト王国**  
前304 首都 **アレクサンドリア**  
ヘレニズム世界の中心として繁栄  
前30 **ローマ** に滅ぼされる  
(2) **セレウコス朝シリア王国**  
前312 当初最大の領土, のち縮小  
| **パルティア**, **バクトリア** 独立  
前63 **ローマ** に滅ぼされる  
(3) **マケドニア王国**  
前306 **アンティゴノス** が創始  
ギリシア本土を支配  
前168 **ローマ** に滅ぼされる